

ウリハッキョ第49回卒業式

22日にハッキョで第49回初級部卒業式が行われました。

この日には卒業生を祝うために保護者、縁故者、同胞たちの他に「セッピール学園」でともに過ごした茨城のオモニたち、新潟のチョチョンイルクンも駆けつけました。

卒業を迎えた初級部6年生の金チャンストムムは途中から一人きりのクラスになったが、ソンセンニンや地域の同胞たちの温かい思いやりのなかで学校生活を楽しく有意義に過ごせたことに感謝し、中級部になっても勉強や学校生活に励んでいくと決意を語っていました。

校長先生の報告の中でも毎日休むことなく学校に通い最優等の成績を収めたと高く評価され、参加者たちから大きな拍手を受けていました。コロナ感染対策のため、残念ながら祝賀宴は行えませんでした。参加者全員と、家族と、ソンセンニンと記念写真を何枚も撮っていました。

新報に大きくとりあげられました

先週に引き続き、3月19日付の朝鮮新報にウリトンネが大きく取り上げられました。

朝鮮語版の「東日本大震災10年」の連載最終回に福島県が紹介されました。

日本語版より紙面を大きく割いて取り上げられたこともあって被災した同胞、各支部の委員長のコメントもより内容が深いような気がします。

震災直後の避難生活の写真とともに現在の教育会会長の写真も掲載されています。

また、同じ日の日本語版特集欄には震災当時福島ハッキョの学生で現在山口初中の教員をしている任智弘さんも取り上げられています。

余震が続いた震災直後、原発事故後放射線汚染を避け東京に一時避難したこと、再開したハッキョで見た各地から届いた支援物資の山、新潟ハッキョでの共同生活などの体験談が語られています。

そして「自分が同胞から受けた大きな愛を次は自分が次代につなげていきたい。愛をもって子供たちと接し、同胞社会と祖国に貢献できる立派な人材を育てていきたい。」と決意を語っています。

ぜひ新報紙面でご覧ください。

セセデオンマのための 料理教室のお知らせ

ニョメン中通支部では「セセデオンマのための料理教室」を企画しました。

4月22日(木)

《内容》 お手軽コチュジャンとコチュジャンを使った料理数種

- △ 参加希望の方はニョメン支部の役員、キッポ会責任者にご連絡ください。詳しい時間、場所をお知らせします。
- △ 会津、浜通地域在住の方も受け付けます。

今週の放射線量

(ハッキョ自動測定器)

15日(月)	0.082
16日(火)	0.086
17日(水)	0.082
18日(木)	0.077
19日(金)	0.084
20日(土)	0.080
21日(日)	0.074